

麻疹(はしか)について知っていますか？

2007年、麻疹(はしか)による大学休校が報道されました。都内の学生 15 万人が休校などの影響を受けたとも言われています。麻疹は子供だけの病気だと思いませんか？2000 から 2002 年の統計では、0~1 歳までが一番多く、ついで 10~29 歳の順となっています。麻疹は、麻疹ウイルスによって引き起こされる感染症で、10日間の潜伏期を経て 38℃をこす発熱や鼻水、くしゃみなど、かぜに似た症状が出ます。その後、39 度以上の高熱と発疹が出ます。

麻疹患者の 1000 人に 1 人は脳炎を発症し、死亡や後遺症が残るケースがあるとの報告もあります。麻疹を発症した場合、特別な治療方法は無く、対症療法(症状を楽にする)が行われます。麻疹は、空気感染、飛沫感染、接触感染のため、1 人が感染するとすぐに広まってしまいます。インフルエンザは 1 人感染していれば 2~3 人の感染率ですが、麻疹(はしか)は 1 人が感染すると 10~13 人が感染するといわれ、予防方法はワクチン接種しかありません。

そのため、麻疹を発症したら、下熱後 3 日間か、発疹が消えて 4 日ほどは自宅療養となります。場合によっては入院治療をすることになります。

予防接種が有効です！



予防接種を受けているかどうかで症状の重さが異なります。ワクチン接種を受けていても、10 年以上経過していると麻疹への免疫が低下し、感染・発症する場合があります。ただし、症状が軽くすむことが多いとされています。

一度麻疹にかかったことがあれば、修正免疫が獲得されるため発症はしません。免疫があるかどうかは、医療機関で血液中の抗体を調べることで分かります。

予防接種の副作用として、接種者の 13%が 2 週間以内に発熱します。他にじんましんなどが見られることもあります。

ワクチン接種を行う際には必ず医師に相談しましょう。



予防接種を受ける前に。

まずは、自分が麻疹にかかったことがあるかどうかを確認する必要があります。乳幼児期にかかっている人が大半だと思いますが、記憶にない人も多いかと思います。

麻疹流行時期には、麻疹にかかったことがなく、予防接種を受けていない人は予防接種を受けることが望まれます。しかし、流行時期にはワクチンの不足も十分考えられますので、事前に予防接種を受けることをお勧めします。

近くの保健所に連絡をして、予防接種が受けられる医療機関について相談してみてください。

流山市保健センター(健康増進課)

04-7154-0331

柏健康福祉センター(柏保健所)

04-7167-1255

また、以下の医療機関でも接種可能か思いますので各自で連絡して確認してください。

東船橋病院 健康管理課

047-469-5782

東葛病院附属診療所

04-7158-7710

流山総合病院

04-7159-1611

健康についてのご質問や、保健だよりに関するご意見などがありましたら C 棟医務室までご相談ください。また、メールでのご質問にもお答えします。

看護師 佐藤 文恵 (木曜日 9:00~17:00)

fumie@edogawa-u.ac.jp